

西大和つうしん

2017年4月号
No.418



琵琶湖に向かって堂満岳山頂直下の雪深い急斜面を下る <2017年3月5日>

奈良県勤労者山岳連盟
西大和山の会

西大和つうしん

第418号（2017年4月号）

【目 次】

4・5月度山行計画	2
4・5月度カレンダー	3
山行・行事等参加メモ	4
山行報告	
・教育山行 《2/18》 大峰の山 天女の舞（杉川）	5
・例会山行 《2/26》 鈴鹿の山 竜ヶ岳（藤井）	6
・例会山行 《3/ 5》 比良の山 堂満岳（杉森）	7
・例会山行 《3/12》 中国山地 千ヶ峰（上田）	8
・自主山行 《3/19》 鈴鹿の山 入道ヶ岳（阪口）	10
会報部打合せ覚書（2016/10/2）	11
室内例会だより（2/22）	12
運営委員会だより（3/11）	13

4 月 度 山 行 計 画

～早春の金剛山へ、一般参加の方と楽しみながら～

公開山行（例会山行1）金剛山地 《金剛山山頂広場 1120m》

【日 程】4月2日（日）（L林）

【集 合】会員：上牧役場前駐車場 7:30 発、一般：近鉄五位堂駅北口 8:00

【コース】青崩登山口 8:30～(青崩道/1h30)～セト分岐～(40)～カトラ谷出会～
(カトラ谷を登る/1h30)～葛城岳（頂上広場）～(30)～セト分岐～(30)
～黒谷分岐～(1h15)～青崩登山口

※歩行時間 約6時間

※五位堂駅解散 16:00 頃

～鎌ヶ岳から大迫力の鎌尾根を歩こう！～

例会山行2 鈴鹿の山 《鎌ヶ岳 1,161m》

【日 程】4月23日（日）（L藤井）

【集 合】上牧役場前駐車場 6:30 出発

【コース】宮妻峡～(2h)～岳峠～(10)～鎌ヶ岳～(10)～岳峠～(1h30)～水沢岳～
(15)～水沢峠～(45)～水沢峠登山口～(林道/35)～宮妻峡

5 月 度 山 行 計 画

～日本一低い小野アルプスに登りましょう～

例会山行1 兵庫県 《小野アルプス紅山 182m》

【日 程】5月7日（日）（L田中悦男）

【集 合】上牧役場前駐車場 7:00 出発

【コース】ゆびか温泉駐車場～(20)～高山～(45)～愛宕山～(1h)～縋山～(25)～
惣山～(35)～岩倉峠～(20)～紅山～(25)～岩山～(25)～福匂峠～(25)
～鴨池公園

※歩行時間 約4時間40分

教育部主催「教育講座」第1回（担当：藤本）

（参加者は3月26日の室内例会で募集）

【日 程】座学4月7日（金）・実技山行4月16日（日）

【テーマ】山行計画・装備

山行の企画発案から計画書作成をへて山行の実施まで、注意点を確認しながら参加者全員でひとつの山行を創り上げていく実践練習を行います。リーダーの選定や各役割り分担、行先およびルート決定も全て座学に含まれます。

※原則として実技山行のみの参加はできません。ただし、やむを得ない事情で座学の参加ができない場合は相談に応じます。座学のみ参加も歓迎します。

西大和山の会 カレンダー

4月		5月	
1	土	1	月
2	日	2	火
3	月	3	水
4	火	4	木
5	水	5	金
6	木	6	土
7	金	7	日
8	土	8	月
9	日	9	火
10	月	10	水
11	火	11	木
12	水	12	金
13	木	13	土
14	金	14	日
15	土	15	月
16	日	16	火
17	月	17	水
18	火	18	木
19	水	19	金
20	木	20	土
21	金	21	日
22	土	22	月
23	日	23	火
24	月	24	水
25	火	25	木
26	水	26	金
27	木	27	土
28	金	28	日
29	土	29	月
30	日	30	火
		31	水

山行・行事等参加メモ

No	氏名 (入会順)	3/26 室内 例会	公開	例会1	例会2	例会1				
			4/2 金剛山	4/16 教育	4/23 鎌ヶ岳	5/7 小野 アルプス				
1	(窪田)									
2	都築									
3	藤井		△		LO					
4	(石田)									
5	田中悦		◎			LO				
6	島崎		◎							
7	田中初		○							
8	村田									
9	林		LO							
10	辻		◎							
11	勝尾		○							
12	藤本		△	担○						
13	杉村									
14	高橋									
15	玉越									
16	阪口									
17	橋本		△							
18	今井		○							
19	亀高		◎							
20	亀井									
21	船江		○							
22	野路		○							
23	中		○							
24	杉森		○							
25	上田		○							
26	永井									
	合計									
	緊急 連絡先									

L:リーダー、○:参加、◎:車

※室内例会時点での参加予定であり、その後変更されることがあります。

山行報告

例会山行3（教育実技山行：雪山登山）

大峰の山 熊渡～天女ノ舞（P1518にて撤退）

【日 程】2月18日（土）曇り

【参加者】L 杉川・SL 野路・高橋・今井・亀高・船江・中・杉森（8名）

【コース】熊渡(8:00)～金引橋(8:55)～登山道出合(11:40)～P1518(12:25/45)～登山道出合(13:11)～金引橋(14:41)～熊渡(15:23)

西大和山の会、教育の卒業山行として天女ノ舞へ。当初は北八なども考えましたが、今回はほとんどピッケルを使わなかったのでハヶ岳方面はなし。となればどこがいいかと考えた末に天女へ。

しかし、雪があまりにも多いだろうなと思っておりましたが、数日前の雨のおかげで雪が少しは減っている模様。これなら行けるかと思い、いざ決行！ しかしながら、なかなか雪深い山行になりました。しかし、さすがは皆さま一年間しっかり勉強しています。ほとんどリーダーと言うことは無く、安心して見ていられました。

結論からいいますと天女ノ舞は次回に持ち越し。P1518まで行ってもガス、眺望無し、霧氷なしと何も無い！これでは天女の看板までいっても意味は無いかなと皆の判断で引き返しました。しかしながら、あの深雪のなかよくピークまでいけたなあと思いました。なかなかの急登ですし、キツイコースだったと思います。来年にはきっと行ってほしいと思います。

私は今回の山行が西大和でのラスト山行になりました。いままでよくしていただき有難うございました。（記：杉川明裕）



P1518のピーク。本日はここまで。天女ノ舞は来年の楽しみに。

杉川さん、お元気で!!

今後とも宜しく!!（編集者記）

例会山行2

鈴鹿の山 竜ヶ岳 1099.6m

【日 程】2月26日(日) 晴れ

【参加者】L 島崎、SL 藤井、勝尾、野路、中 (5名)

【コースタイム】宇賀溪駐車場(9:25)～金山登尾根山口(10:10)～縦走尾根分岐(12:05)～竜ヶ岳(12:35/13:20)～縦走尾根分岐(13:45)～金山尾根登山口(15:05)～宇賀溪駐車場(15:45)

車の中から望む鈴鹿の山々は真っ白に冠雪していて期待に胸が膨らむ。駐車場は既にたくさんの車が停まっていた。案内所に登山届を提出すると予定していたホタガ谷裏道は3年ほど前から崩落で通行止めになっているということで新ルートの金山尾根を登ることにする。



丁寧に登山道の様子を教えてくださいました。

沢を渡り、しばらくは雪のない樹林の中の急登を登っていく。すっきり晴れた空に風もなく汗ばんでくる。少しずつ高度が上がると積雪が現れ、葉をすっかり落とした木々の間から真っ白に輝く竜ヶ岳のなだらかな山容が見えてきた。しっかりトレースが付いていて雪も締まっていた歩きやすいが、先はまだまだ長い。雪のないどろんこ道を避けて最後は頂上まで雪の壁を直登する。山頂は遮るもののない360度の大展望が広がる。鈴鹿の山々、伊勢湾も見えた。ここのところ山頂までたどり着けない山行が多かったので、達成感を味わえた。広い頂上は風が強く雪はなかった。汗ばんでいた身体もすぐに冷えてきて早々に下山する。下りも同じ安全な金山尾根をとる。眼下に広がるパノラマを眺めながら快適にどん

どん下っていく。遠くまで出かけなくてもこんなに気持ちのいい雪山を堪能できるのだ。

下山後、リーダーの心づくしのぜんざいをいただく。冷えた身体に温かく甘くととてもおいしかった。それにしても出会ったのは殆どが若者のグループだった。10年前には考えられないことだ。西大和もあやかりたいものと思った。

(記: 藤井益子)



例会山行1

比良の山 堂満岳

【日 程】3月5日(日) 晴れ

【参加者】L辻・SL田中・亀高・船江・中・杉森(7名)

【コースタイム】JR 近江舞子駅(9:30)～イン谷口(10:23)～金糞峠(12:35/13:10)～堂満岳(14:04)～ノタノホリ(16:41)～比良駅(17:50)

湖西を走る車窓からの景色は、雪もなくすっかり春の様相を呈していた。近江舞子駅で下車し、前方に鋭く尖った姿の堂満岳を見ながら歩き始める。天候も良く暖かくて汗ばむほどだ。

イン谷口に着き休憩をとる。登山道に入るとまもなく雪道になるが、アイゼンはまだ必要ない。青空と雪のコントラストがとても美しい。何処かで鳥の鳴き声が聞こえる。雪国生まれの私は春の息吹を感じる早春のこの時期が好きだ。大山口を過ぎ積雪が深くなる。トレースは付いているので歩きやすいが、木の根元や、段差の所は下の雪が溶けているので時々足を取られる。平坦な場所でアイゼンを付ける。青ガレを過ぎると傾斜が急になり次第に歩幅が狭くなる。トレースの幅と合わなくなり歩き辛い。ようやく金糞峠に着く。振り返ると琵琶湖が見える。その雄大さに見とれていると疲れも吹き飛ばす。峠は風もなく暖かいのでゆっくり昼食を取る。雪山山行で久しぶりにコーヒーが飲めてホッとする。

いよいよ頂上を目指して尾根を登山開始。しゃくなげの林を過ぎると積雪も次第に深くなる。分岐点に来た。前回の山行ではルートを外れたのでナビで確認して頂上を目指す。暫くして堂満岳の頂上に着く。360度の展望が開け打見山、蓬萊山、武奈ヶ岳など比良山系が一望できる。眼下には比良の町並みや琵琶湖の眺望も素晴らしい。残念ながら湖東の山々は霞んで見えない。下山開始。頂上直下の急斜面は木々も少なく、滑落すればかなり下まで落ちそうである。注意しながら下るが時々雪に足を取られ体力を消耗する。ノタノホリまで約 1/3 の地点でルートを外れたのに気づきながらそのままトレースの付いている谷筋を下り、再び正しいルートに戻る。そのため予定の時刻より遅れたが無事比良駅に到着した。



休憩を含めて8時間30分の長い行程であったが、好天に恵まれ頂上からの眺望を十分楽しむことができ充実した山行であった。下記のヒヤリハット報告はリーダーの責任にされているが、断じてそうではなく参加者全員の責任であることを明記しておく。
(記: 杉森英二)

【堂満岳山行 ヒヤリハット報告】

リーダーの不注意及び判断ミスによるヒヤリハットの報告です。

・その1：下車駅を通り過ぎた。

大阪駅から乗車した新快速が、下車駅(比良駅)に停車するものと勝手に思い込み、結果的に乗り過ぎて、スタートが約 30 分遅れました。

〈原因〉調査不備と、間違った思い込み。

・その2：下山道でルートを外し、谷筋へ入り込んだ。

下山の時、ルートが外れている事はナビを見て気が付いていたので引き返すことも考えましたが、谷筋に明確なトレースがあったので、それを信用して前進するが、やがてトレースも消え 100mの急斜面をよじ登り、やっと正しいルートに戻る事が出来ました。道迷いやルート間違いは、元の地点に戻るのが鉄則なのに、安易にトレースを信じて深みにはまるといふ、典型的なミスを犯しました。

〈原因〉ナビやトレースを過信した事と、引き返す勇気の欠如。

思い込みによる下車駅の乗り越しと、ルートミスにより下山が予定より2時間も遅れ、日没が早い時期なら大きな事故に繋がっていた可能性があり、リーダーの判断ミスが及ぼす影響が如何に重要なのか、痛切に感じました。

リーダーとして大いに反省し、この経験を生かして再発防止に努めます。

《L：辻康司》



例会山行2

中国山地 千ヶ峰 1,005.2m

【日程】3月12日(日) 晴れ

【参加者】CL 田中悦・AL 辻・ASL 今井・BL 島崎・BSL 藤井・勝尾・阪口・亀高・船江・中・杉森・上田・永井(計13名)

【コースタイム】七不思議登山口前(9:15/35)～登山口ゲート(9:40)～唐滝コース分岐(10:45)～稜線出合(11:35)～P986(12:05)～千ヶ峰(12:35/13:20)～岩座神コース分岐(13:50)～三谷登山口駐車場(14:45)

前夜の天気予報は、高気圧に覆われて晴れるでしょう！ テレビの天気図を解読(?)、大丈夫！！

予定では三谷コース登山口に車を置き約25分歩いて七不思議コースから登山開始だったが、七不思議コースまで車で行く事にする。下山は三谷コース登山口になるので車だけを三谷登山口に駐車し歩行時間短縮。A班、B班に分かれていよいよ出発、七不思議の1つ「三本竹」の案内板を左に見て六地藏さんに挨拶をし、きれいに枝打ちされた杉木立の中を歩いていく。



切り落とされた枝、落ち葉や残雪、浮石もあって歩きにくい。七不思議の1つ「塔の岩」が右手に見えてきた。時々、SLのIさん、CLのTさん、LのTさんがコースの現在地、方向など、確認しながら急登を上って行く。65分で七不思議コースと唐滝コース分岐。

標高が上がるにつれ、雪もあり、踏み跡をたどりながら進む。50分程のぼると青空が見えて

きた、標高900mの稜線に出た。いい天気だ、杉木立には陽がさし込み、根元の雪を照らして美しい。雑木林の間隙からは遠方の山々、峰々が青空に映えてまぶしい。ここからは気持ちの良い稜線歩き。30分で七不思議コースと頂上の分岐、千ヶ峰の頂上も見えている。最後の上り30分程で頂上到着！眺め最高！360度遮るものも無く、遠く西北には氷ノ山、雪彦山が白く輝いている。風もなく暖かいのがうれしい。



いいランチタイムだった。下りは三谷コースへ。いきなり急な下り、雪解け水で登山道はドロドロ、ズルズル、笹の根が張出し滑りやすい、慎重にゆっくり下っていく。30分で岩座神コースと三谷コースの分岐。現在地、コースの方向、確認をとりながら下っていく。浮石、木の根が多くて歩きにくい。やがて沢沿いの道となり大小の滝となっている。ひととき大きな滝は「雄滝」と名付けられていて見上げると力強さを感じる。マイナスイオンで深呼吸。歩くこと10分足らずで三谷コース登山口到着。あ～疲れた～。このあと田中ご夫妻が用意くださったぜんざいをごちそうになり楽しいひと時を過ごしました。この日は久しぶりの好天に恵まれて、上り、下り、急登でしたが変化があって魅力的な山でした。



(記：上田雅子)

自主山行

鈴鹿の山 入道ヶ岳 905.6m

【日 程】3月19日(日) 晴れ

【参加者】L 島崎、SL 藤井、村田、杉村、阪口、亀高、野路、中(8名)

【コース】 椿大神社(8:50)～登山口(9:15)～(井戸谷コース)～福寿草群生地(10:15/30)～山頂(11:50/12:30 昼食)～(二本松コース)～登山口(14:00)～椿大神社(14:20)



椿大神社に着いたら、駐車場は結構な数の車が停まっていて、天気も良いし、今日は何かあるのかなあ。車を止めて登山口の方に歩いて行くと、そこにも車がいっぱい停めてあり、登山者も多そうだ。当初北尾根コースで登る予定だったが、福寿草が咲いているかもと言う事で急遽、井戸谷コースに変更して出発。

登山道に番号があり、⑤あたりと言う事を気にしながら行く。登山道の途中避難小屋があり休憩するが、結構な急登で何人か

の若い登山者に追いつかれて道を譲ることに。すこし進むと可憐な花を咲かせた福寿草が現れる。登山道から外れて踏み跡がたくさんあり、そちらの方に行くと、福寿草の群落が出てくる。お花を見ていると、後から沢山の登山者が登ってきたので場所を譲って出発する。少し行くと、山頂まで急な雪渓歩きが続き、後ろから又若い登山者に追いつかれ道を譲りながら山頂に着く。



山頂は風が強く、風の緩いところで昼食。鈴鹿の登山者は若い人が多い。私たちが最年長パーティだと思うと心がへこむ。でも若い人と一緒に山を楽しむことに感謝しながら二本松コースで下山する。雪解け水でぬかるんでいて、滑らないように慎重に行っていたから



か、ここでも若者に道を譲ることに。ぬかるみを抜けたらいい尾根道になる。入道ヶ岳は、山頂は広くてなだらかだけど、登山道は登りも下りも急だ。下山して駐車場に着くと、神社は登山者と参拝者でいっぱい、駐車待ちの車が列をなしていた。雪も残っていて野生の福寿草を見る事も出来、大満足

の登山になりました。(記：阪口百合子)

会報部打合せ覚書

【日 時】2016年10月2日 15:00～17:00 於：藤本宅

【出席者】亀高(会報部長)・辻(会報部 HP 管理者)・藤本(元会報部長)

総会開催に当たり、昨年10月に行った会報部打合せ記録を掲載します。これらは会報やHPの編集者の留意点であり、山行報告書等を作成して戴く方に強制するものではありません。

1. 会報・HPの編集について

- ①誤字・脱字・誤った句読点などは、編集者の判断で訂正する。必要に応じて訂正後に本人に通知する。
- ②意図が不明確、意味が不明などの文章は本人に確認する。
- ③コースタイム等の表示は統一する。
 - ・計画書の区間タイムは、(1h15)=1時間15分、(15)=15分と表記。
 - ・コースタイムの時刻は24時制で、(10:15)や(14:15)などと表記。
 - ・すべて半角文字を使用。

2. 会報の山行報告について

- ①L・SL名を必ず入れる。
- ②メンバーの並びは、L・SLの後は名簿順にする。

3. 自主山行の計画の会報掲載について

- ①自主山行は、通常は会報の山行計画欄には掲載しないが、場合によっては掲載することがある。
- ②自主山行計画を会報に掲載する場合、日程・山名・リーダーのみの簡略記載とし、コース等詳細は省く(室内例会で参加者を募る場合はこの限りではない)。
- ③『山行・行事等参加メモ』には、例会山行や会の行事を入れるが、自主山行は入れない。室内例会で参加者を募るなど必要な場合は空欄で対応。

4. 会報・HPの写真の扱いについて

- ①トップページには、人物が特定できる写真は掲載しない。
- ②トップページの写真には原則として例会山行の写真を採用する(例外もあり得る)
- ③挿入写真に、人物の大写真写真は避ける。

5. HP担当者の呼称について

- ・HP管理者：辻
 - ・HP編集者：島崎・辻・藤本
 - ・キャプション係：各山行の担当
- ※HPの山行報告一覧の「HP編集」欄に、HP編集者のイニシャルを入れる。

6. 会報の『西大和つうしん』及び『西大和山の会』ロゴについて

- ①会報担当者毎(三年間)に、ロゴを統一する。
- ②色は青や緑系。(赤は避ける)

7. 今後について

- ①HP編集者の若返りを図る。
- ②HP編集ソフト(新ホームページ・ビルダー)購入のため、来期予算化を目指す。

室内例会だより

【日時】2017年2月22日(水) 19:30~21:30 事務所

【出席者】藤井、田中悦、島崎、田中初、林、辻、勝尾、藤本、杉川、阪口、橋本、今井、亀高、船江、野路、中、杉森、上田、永井

1. 山行計画

- 3月5日(日) 例会山行1 比良の山《堂満岳 1,057m》……………L 辻
- 3月12日(日) 例会山行2 中国山地《千ヶ峰 1,005.2m》…………… L 田中悦
- 4月2日(日) 例会山行1(公開山行) 金剛山地《金剛山 1,120m》……………L 林

2. 山行報告

- 1月22日 教育山行 台高山脈《高見山 1,248.4m》桃俣ルート L 今井……………8名
- 1月29日 例会山行2 比良の山《ヤケ山~ヤケオ山》L 藤井……………7名
- 2月4-5日 県連初級登山学校「雪山登山」奥美濃《大日ヶ岳 1,709m》
CL中武(奈良労山)……………西大和5+他会4/合計9名
- 2月12日 例会山行1 台高山脈《高見山 1,248.4m》L 多賀……………11名

3. 連絡その他

★県連関係

- ・来期も引き続き代表理事として藤本さんが参加
- ・来期初級登山学校について
講師：中武佳史(奈良労山)、スタッフ：藤本・杉川(西大和)
派遣予定者：船江、中、杉森、永井
参加希望される方は、藤本さんまで連絡のこと
- ・県連の事務所が変わる(オークワの隣)
- ・県連の現状について(藤本さんより報告)
役員組織が維持できなくなる可能性が今後考えられ、県連自体の存続も危ぶまれる状態になっている。

★本会より

- ・夏山自主山行について
リーダーをされる方は山名、日程を3月4日までに島崎さんに提出のこと。
日程が重なる場合、リーダーで調整していただく。
- ・県連総会：3月5日(日) 王寺町地域交流センター
出席者：高橋(代議員)・藤本(代表理事)・島崎(会計監査) 手伝い：勝尾・今井
- ・公開山行について
3月26日に一般参加者人数を確定 参加費：300円(保険料)
HPには、「本年度は一般公募しない」と明記する
- ・第37期総会：3月26日(日)13:00~ 事務所
引き続き室内例会 15:00~/懇親会(や台ずし) 17:00~

★松浪さん2月で退会されます。

(記：橋本紀子)

運営委員会だより

【日 時】2017年3月11日(日) 13:00～15:00 事務所

【出席者】島崎・辻・勝尾・藤本・杉村・橋本・今井・亀高

1. 第36期定期総会に議案書作り

- ① 第35期活動報告について
 - ・事務局、自然保護部、教育部、女性部、会報部各部活動報告について検討及び修正
 - ・会計決算報告書の修正
- ② 第36期活動方針(案)について
 - ・事務局、自然保護部、教育部、女性部、会報部各部活動方針について検討及び修正
 - ・来年度予算案検討
上記修正後議案書を作成する。
(修正後の原稿回覧 3/17 期限、さらなる修正等の指摘 3/21 締切、最終原稿回覧 3/23、原稿確定・印刷 3/24～25)
- ③ 「山行計画及び山行報告の会報・HP への掲載について」改正案検討及び修正
- ④ 山行規定の一部改正
自主山行、医薬品・修理道具について

2. 県連関係

- ① 来年度県連初級登山学校開催について
県連教育部長空席のため、藤本(西大和)が教育部担当理事を兼務し、杉川(4月より奈良労山に移籍)と2名で県連初級登山学校を実施する。中武前教育部長はアドバイザーとしてのみ関わる。
- ② 県連理事会について
県連常任理事のなり手が少なく、理事会体制の崩壊が懸念されるため、「今後の県連体制を検討する会」を発足させて今後の方向を探る(各会より最低1名を派遣のこと)。これに関連して、本会としての意見をまとめる必要がある。
再来年度(2018年度)県連会計は本会が担当することに決まっている。

3. 本会より

- ① 県連初級登山学校について
これまで派遣候補になっている会員に上記2-①の件を伝えた上で、改めて決定する。
- ② 岩稜歩行訓練について
県連に講師を依頼し行ってきた岩稜歩行訓練及び今期予定していた岩稜基礎訓練は、県連の教育部長が空席であること、また、講師をお願いする予定だった中武前教育部長の事情にもより実施できなくなった。今後どうするか検討する。

(記：橋本紀子)

西大和つうしん

第418号（2017年4月号）

2017年3月26日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 亀高 茂

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会
〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32
窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<http://www.nishiyamatoyama.com/>